



萩東中だより



2019年
6月7日

〒758-0025 萩市土原556番地 TEL0838(25)2721 FAX0838(25)3721
e-mail hagigashi-jh@edu.city.hagi.lg.jp

NO.5

ある日の一日の出来事から感じたこと

萩東中学校には、毎日たくさんの方が来校されます。この日は、北海道小清水町の教育委員会の方々、はるばる本校の視察に来られました。保護者や地域の方々の学校支援に驚きながら、「地域とともにある学校づくり」を進める本校の取組を興味深く聞いておられました。

その後、萩市が開催する「高校魅力化プロジェクト会議」に参加しました。この会は、子どもたちにふるさとへの誇りと志を育み、将来萩市に貢献する人材を育てていくための、中学校と高等学校の連携のあり方について協議する会議です。私も中高一貫教育校に勤務した経験があり、キャリア教育の視点からも中高連携を進めていくことはとても大切と考えています。そこで、高校の校長先生方と相談をしながら、例えば6月9日に行われる萩高校の文化祭の合唱部のステージに本校の合唱部が参加することや、玄関に置かれている夏柑ネットのマスコットの修繕作業に、本校の美術部と萩商工生とが一緒に取り組むことなどを計画しています。

会議が終わって学校に戻ってみると、この日は「てごの会」による花生けの日になっています。校長室にも新しい花が飾ってありました。毎週行われている花生けの活動ですが、この活動がずっと当たり前のように続いていることが、実は小清水町の方々も驚くようなとてもすごいことなんだとつくづく思いました。

さらに午後からは、県教委や市教委との情報交換会がありました。この会では「教員の働き方改革」に話題が集中しました。本校でも教職員の退庁時間は9時10時が当たり前になっています。生徒思いで仕事熱心な教員集団ですが、校長としては、なんとかしなくてはと強く責任を感じているところです。



「てごの会」による花生けの様子

夕方再び学校に戻ってみると、夏柑ネット事務局の方々も私の帰りを待っておられました。事務局では、毎月一回会合を開き、子どもたちのために地域ぐるみで何が出来るかを協議しています。本当にありがたいことです。

萩東中学校がどれだけ保護者や地域の方々に支えられている学校なのか、あらためて実感することができた一日でした。

(校長 網本徳文)

6月の生徒指導目標は「時間厳守」です！

生徒指導の視点から、6月を「6月の危機」と呼んでいます。6月は、新学年がスタートし、夏休みを迎えるまでの「中だるみの時期」であることや、梅雨入りを迎え、すごしにくい気候になっていくこと、祝日がなく疲労がたまっていくこと等が理由です。そのような中、本校では「時間厳守」を目標に、「8:15 無言着席」、「5・2・1の徹底（授業開始5分前に教室入室、2分前には着席、1分前から黙想）」、「18:15 総下校」を生徒に呼びかけ、教員がしっかり生徒に寄り添い関わってまいります。ご家庭でも、充実した一学期を送ることができるよう、ご指導いただけたらと思います。



教員と生徒による給食準備

令和初の中間テストがありました！

5月28日（火）に、1学期中間テストがありました。1年生にとっては初めての定期テストでしたが、テスト勉強した成果は十分発揮できたでしょうか。テストの結果に一喜一憂するだけでなく、何が十分理解できていなかったかを把握し、しっかり見直しをして、弱点克服に努めてほしいと思います。なお、6月26日（水）、27日（木）には期末テストがあります。中間テストの経験を生かし、納得いく準備を進めてほしいと思います。



初めての定期テストに取り組む1年生

今年も「萩往還」完歩しました！！

5月25日（土）に、本校伝統の2年生行事「萩往還を歩こう」が実施されました。最高気温31度を記録した暑さの中、参加生徒143人が8：30に山口市の天花坂口をスタートし、萩東中学校までの約30kmを歩きました。生徒の安全確保のため、「てごの会」の方々（18人）、学級PTAの方々（28人）に、生徒と一緒に歩いていただいたり、危険箇所で見まもりをいただいたり、本当にありがとうございました。また、暑さ対策のため、途中休憩を予定より多めに取ったため、到着時間が大幅に遅れ、ご心配をおかけしましたが、たくさんの保護者のお出迎え、感謝いたします。学級担任も、生徒と一緒に完歩いたしました！（翌日は・・・たいへんでした。）

●感想：平田 萌恵（2-4）

萩往還を歩いて、山道は足元も悪く、急な坂道では滑りそうになりましたが、班のみんなが支えてくれたので、完歩することができました。「松陰先生や萩から旅立った志士たちのほとんどが『萩往還』を歩いたんだ」と考えると、「本当にすごい道なんだな」と、改めて実感しました。苦しい坂道では、みんなで休憩を取り、励まし合いながら歩き、緩やかな道では、おしゃべりをしながら楽しく歩くことができました。「一人では絶対無理だと思うことでも、仲間がいれば、達成することができるんだ」ということを、友人と共有できた有意義な時間でした。友達や先生方、地域の皆さんに支えられ完歩できたということをお忘れず、この経験をこれからの学校生活や人生に生かしていきたいです。



←「てごの会」、学級PTAの方々による声かけや水分配付の様子



←「てごの会」の方々、若手教員が最後尾を務めました！

↓PTA役員方による水分補充と飴配付（塩分補充）の様子



←「萩東中学校」の幟を持って歩いている様子

